

第1回策定委員会 資料4
令和3年8月30日



第1回 策定委員会

千代田区就学前プログラム改定について

令和3年8月30日（月）
午後2時から4時まで

1 就学前プログラムとは

本区の地域特性を踏まえ、各園の特色を尊重しつつも、公立・私立等の設置主体の別や保育園・幼稚園などの認可形態の別にとらわれることなく、子どもの発達や学びの連続性を考慮し、0歳から5歳の発達段階に応じて確実に経験させたい内容を明らかにした千代田区の子どものための就学前プログラムを策定するものです。

(千代田区の子どもたちのための就学前プログラム P9)

2 改定の背景

保育所保育指針、幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂（改定）

学習指導要領の改訂

ポストコロナ期における新たな学びの在り方について

幼児教育スタートプランの策定（文部科学省）

【生きる力を育む】 非認知能力・認知能力

これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。

就学前保育・教育を通して目指す姿

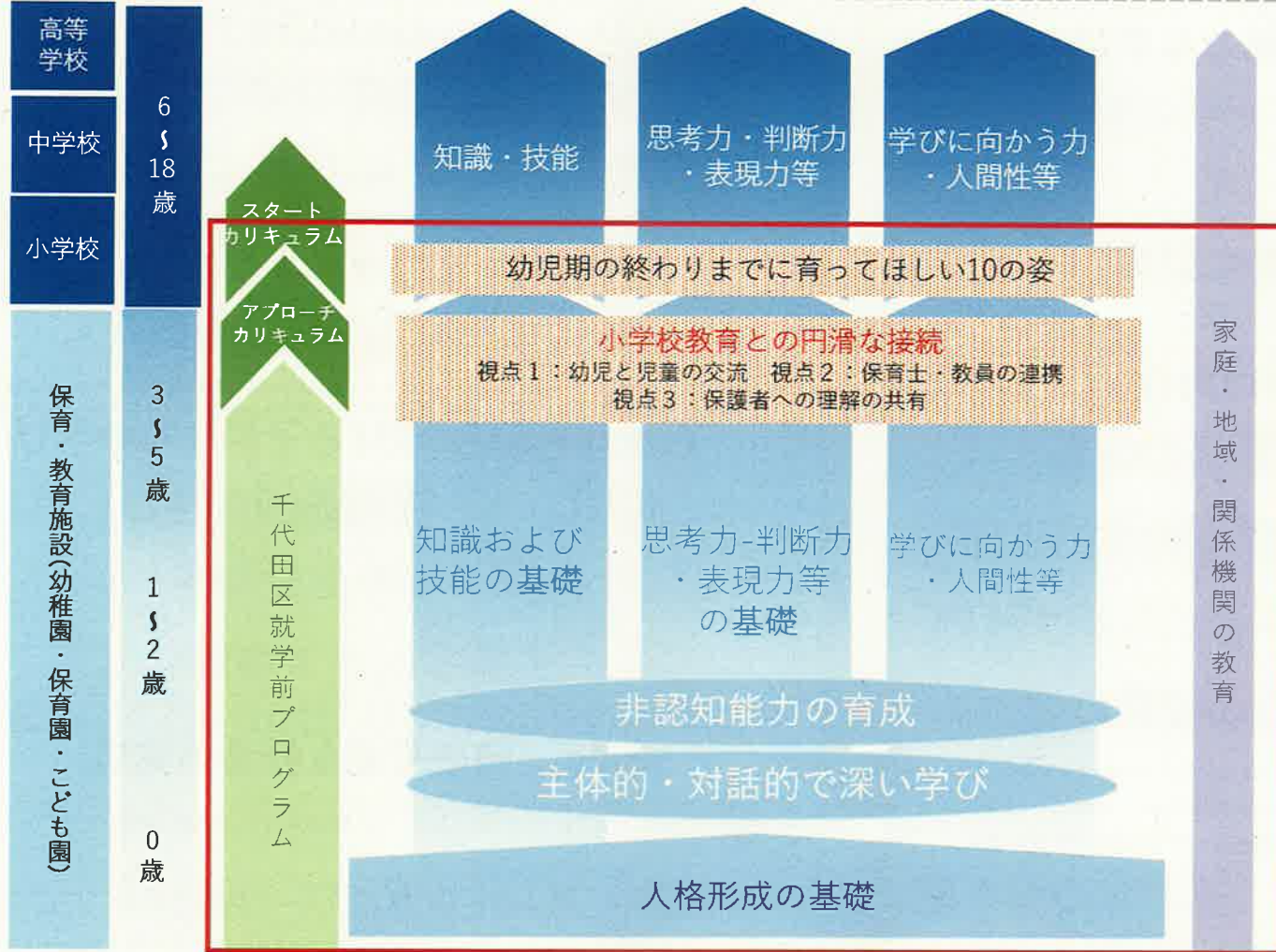
様々なことに興味をもち、自分で考え工夫していく子ども

身近な人やものに親しみをもち、やさしく思いやりのある子ども

元気に体を動かして遊ぶ子ども

乳幼児期の接続イメージ

未来を見据えた幼児教育



幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

健康な心と体	自立心
協同性	思考力の芽生え
道徳性・規範意識の芽生え	
社会生活との関わり	
自然との関わり・生命尊重	
数量・図形、文字等への関心・感覚	
言葉による伝え合い	
豊かな感性と表現	

教育・保育のねらいに関する5つの領域

(新)1~2歳/3~5歳

健康	人間関係
環境	言葉
表現	

乳児の育ちに関する3つの視点

健やかにのびのびと育つ
身近な人と気持ちが通じ合う
身近なものとの関わり感性が育つ

【ウェルビーイングを土台に、「幸福」や「豊かさ」追求していく社会】

【ニューノーマルにおける教育の姿】

一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ（ウェルビーイング）の実現を目指し、学習者主体の教育に転換

ポストコロナ期における新たな学びの在り方

ウェルビーイングの実現

デジタル化

学習者主体の教育

『OECD Education2030プロジェクト』

VUCA時代の学びの在り方

教育のカリキュラムは新しい方向に進化

幼児教育スタートプラン

全ての5歳児に就学前教育

令和の日本型教育（幼児教育の内容・方法の改善）

幼児教育の質の評価の促進

家庭・地域における幼児教育の支援

ダイバーシティとインクルーシブ教育

小学校教育との円滑な接続の促進

『society5.0』における子供たちの学び

ICT化

個別最適な学び

人間の強みを生かす

多様な人々と協働

SDG s（持続可能な社会の実現）

誰一人取り残さない（leave no one behind）

サステナブル リカバリー（持続可能な回復）

子どもの人権（子供のことを決めるときは子供の意見を聴く）

子どもの主体性の尊重

子どもの声を聴く

令和3年度の就学前プログラムの見直し過程 (案)

第1回 策定委員会

- 委員の初顔合わせ
- 改定の背景や概要を知る。
- 就学前プログラム改定趣旨や改定のポイントをふまえて意見交換

(従前の就学前プログラム、千代田区共育大綱のめざす子どもの姿を参考)

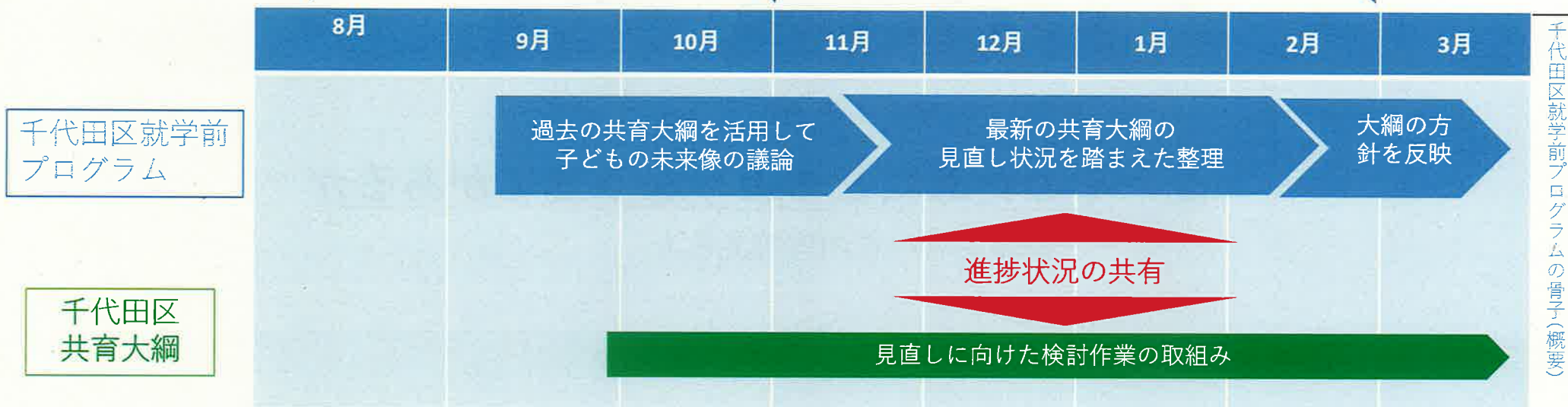
第2回 策定委員会

- 現状・課題の意見交換
- どのような子どもを育てるか
(従前の就学前プログラム、千代田区共育大綱のめざす子どもの姿・子ども像と照らし合わせる)
- 従前の就学前プログラムについての課題整理

第3回 策定委員会

- 現状・課題を踏まえ手立てや体験すべき内容の検討
- 新しい時代に合った、目指す子ども像・子どもの姿

共育大綱の文言を踏まえて、現状・課題を出し合いこれからの子どもの姿の観点を出し合い、新しい子ども像を考える。



現状（実態）

課題



① めざす子どもの姿・子ども像

どのような子どもを育てていくのか

② そのためにどのような手立てがあるか

経験するべき内容等あるか

平成

東京都・千代田区	
14年 3月	千代田区立こども園条例
14年 4月	千代田区立いずみこども園創設
16年 3月	千代田区文化芸術基本条例
18年 4月	千代田区立九段中等教育学校創設
22年 4月	千代田区立ふじみこども園創設
24年12月	千代田区子ども発達センター さくらキッズ開設
25年 3月	千代田区就学前プログラムの策定
25年 4月	千代田区子どものあそび場に関する条例
25年10月	千代田区子ども・子育て会議条例 子どもが健やかに育つための環境確保に関する条例
27年 3月	千代田区第3次基本計画～ちよだみらいプロジェクト～ 千代田区次世代育成支援計画 ～次世代育成支援+子ども・子育て支援～
27年 7月	千代田区いじめ防止等のための基本条例
28年 3月	千代田区共育対抗・千代田区共育ビジョン
28年 3月	東京都就学前教育カリキュラム 改訂

令和

31年 3月	子ども版 千代田区共育ビジョン策定
2年3月	第2期子ども・子育て支援事業計画
2年5月	千代田区はばたきプラン（障害児ケアプラン）
3年3月	東京都教育施策大綱
3年4月	東京都こども基本条例の施行
3年5月	千代田区都市計画マスタープラン改訂

国内全体

12年 8月	待機児童問題と保育施設の多様化 量的拡大（認可保育園の規制緩和・待機児童ゼロ作戦）
16年 3月	児童福祉法改正
18年 4月 12月	幼児教育振興アクションプログラム（平成22年度まで） 教育基本法（60年ぶり改正）
22年	幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について
24年 8月	子ども・子育て支援法の公布
26年	幼保連携型認定こども園教育・保育要領制定
27年 4月 27年 10月	子ども・子育て支援法新制度の施行 SDGs 国連サミットで採択
28年 1月	第5期科学技術基本計画の策定 Society5.0に向けた人材育成
30年 4月	3法令同時改訂（定）の施行 保育所保育指針、幼稚園教育要領、認定こども園教育・保育要領
30年 11月	子ども権利条約批准30年
元年 10月	幼児教育・保育の無償化 ＜すべての子どもに質の高い教育・保育の機会を保障＞ 日本人の国内出生数が初の90万人割れ
元年 12月	
2年 4月	小学校での新しい学習指導要領の開始 （小学校：令和2年 中学校：令和3年 高等学校：令和4年）
2年 12月	科学技術・イノベーション基本計画 （新たな社会を支える人材育成（SDGs、GIGAスクール））
3年 1月	新子育て安心プラン 地域の特性に応じた支援
3年 1月	「令和の日本型学校教育」の構築を目指して
3年 1月	幼児教育スタートプラン すべての5歳児に就学前教育
3年 5月	新たな時代を担う人材育成と研究力の強化について
3年 6月	「ポストコロナ期における新たな学びの在り方について」
3年 6月	障がいのある子供の教育支援の手引き ～子供たちの一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～

千代田区就学前プログラムの位置付け

第3次長期総合計画「基本構想」
～都心の魅力にあふれ、文化と伝統が息づくまち千代田～

ちよだみらいプロジェクト千代田区第3次基本計画

千代田区都市計画マスタープラン
(令和3年5月)

千代田区就学前プログラム

●国・都の関連施策

・幼稚園教育要領
・保育所保育指針
・幼保連携型認定こども園教育・保育要領

・東京都就学前教育プログラム
・東京都就学前教育カリキュラム

●区の関連計画

千代田区共育大綱

千代田区共育ビジョン

千代田区次世代育成
支援計画

●施策のみちすじ

- 1 安全で安心できる、いつまでも住み働き続けられるまち
- 2 福祉の心が通いあう、安心と支えあいのまち
(4) 安心して子育てができ、子どもたちが健やかに成長できるまち
- 3 心豊かに学び、文化を創り出すまち
(1) 未来を担う人材が育つまち
- 4 人と人とのふれあいを大切にする、個性あふれるまち
(1) 100万人のコミュニティの輪が広がるまち

●重点プロジェクト

▶子育てしやすいまち～笑顔あふれる千代田

- 「保護者の多様なライフスタイルに応じた子育てができる環境を整えます。」(施策目標22)
・待機児童ゼロ対策・学童クラブ質向上・児童施設の整備
・保育サービス質向上(助成、区有地の貸し出し等)
- 「安心して子育てができ、子どもたちがすくすくと育つ地域づくりを進めます。」(施策目標23)
・相談支援事業の強化・児童虐待防止・母子保健サービス向上
・子育て世代への支援(児童手当、医療費助成等)

●法律に基づく条例

ア 千代田区子ども・子育て会議条例
子ども・子育て支援法に基づき会議の設置

●独自の条例

- A 千代田区子ども・子育て支援事業基金条例
保育需要への対応・保育の質の向上のための財源確保
- B 子どもが健やかに育つための環境の確保に関する条例
子どもが健やかに成長できるよう良質・適切な環境を等しく確保
- C 千代田区子ども発達センター条例
障がいをもつ子供たちの福祉・保護者への子育て支援
- D 千代田区子どもの遊び場に関する基本条例
子どもの遊び場推進会議設置・区有地を活用し、遊び場確保